

PAARC

PUBLIC ART RESEARCH CENTER 5

5

[MEETING TABLE]

2015.9.2-9.6

PARC 5

[MEETING TABLE]

2015.9.2-9.6

Public Art Research Center 5 [PARC 5 : Meeting Table]

日時 | 2015年9月2日(水)～6日(日) 12:00～18:00
 会場 | 札幌駅前通地下歩行空間 | 憩いの空間 E、北3条交差点広場(西)
 主催 | 札幌駅前通まちづくり株式会社
 共同企画 | 一般社団法人 PROJECTA
 URL | <http://www.sapporoekimae-management.jp>
 問い | 011-211-6406 | info@sapporoekimae-management.jp
 協力 | さっぽろ天神山アートスタジオ



PUBLIC ART RESEARCH CENTER

パブリックからアートを考え、アートからパブリックを考える Public Art Research Center [PARC] は、現代のパブリックアートとパブリックスペースを多角的に考察していくアートプロジェクトです。

5回目をむかえる PARC 5 のテーマは [Meeting Table]。PARC 5 は、公共と芸術について考え共有する5日間とし、札幌駅前通地下歩行空間(以下チ・カ・ホ)に人が集まる広場をつくります。専門家によるフォーラム、リサーチセンターの資料展示、DIY スタジオでの制作体験、PARC 図書館での書籍閲覧と作品鑑賞、といくつもの入口を用意することで、チ・カ・ホを行き交う人がふと足を止め、アートの視点を通じ、世界や社会の問題、公共性と芸術、未知なる自分に出会える機会となることを目指しています。

展示・ワークショップ | 9月2日(水)～6日(日) 12:00～18:00

●PARC 図書館

PARC 5 では PARC 図書館が開館。アート、デザイン、建築、まちづくり、写真集、画集、絵本など PARC が選出する書籍を自由に閲覧できるテーブルとブースを設置。その場で書籍を鑑賞できます。また PARC 図書館内で「ふたりの時間」展を開催し、本棚や壁などにアーティストの作品が展示されるので、実物の作品を鑑賞できます。

●PARC 図書館「ふたりの時間」展

読書したり作品を眺めている時間は、個人的なひとりの時間であると共に作者と鑑賞者、ふたりによってもたらされる時間ともいえるでしょう。距離と時間が遠く離れたふたりが地中の道で邂逅するのです。

出展作家 |

今村育子、大島慶太郎、笠見康大、風間天心、櫻見菜々子、進藤冬華、高橋喜代史、武田浩志、長谷川裕恭、山本雄基

●イスづくり DIY ワークショップ

アーティストの指導のもと、木材でオリジナルのイスやベンチなどを作れる DIY ワークショップ・スタジオを開設。

講師 | 東方悠平 (美術家)

材料費 | 1,000円～3,000円 (サイズによる)
 時間 | ①12:00～14:00 ②14:00～16:00 ③16:00～18:00
 定員 | 各日3～6名程度
 ※まちづくり会社 web での事前申込みがおすすめです。
 ※6日(日)は都合により実施しません。ご了承ください。

●リサーチセンター

本プロジェクトの名称であるパブリック・アート・リサーチ・センターを体現すべく、国内外のパブリックアートの調査を行うリサーチセンターを開設、パブリックアートの変遷、パブリックスペース、現代のパブリックアートに関する資料の収集と展示を行います。

会場図

札幌駅前通地下歩行空間①②④番出口すぐ
 JR「札幌」駅 徒歩5分
 地下鉄南北線「さっぽろ」駅 徒歩2分
 地下鉄東西線・南北線「大通」駅 徒歩5分



2015.9.5-9.6

「公共と芸術」フォーラム

※内容は変更になる可能性があります。ご了承ください。

9月5日(土)と6日(日)は、北3条交差点広場に全国から有識者を招き「公共と芸術」フォーラムを開催。

フォーラムは公開討論会、あるいはそれを行う場所の意味であり、古代ローマの公共広場や広場をフォーラムと呼んでいたのが由来とされています。広場とは元来、人が集まり話をする公共空間だったのであらうと想像し、札幌駅前通地下歩行空間の広場を議論や対話を育むテーブルと捉え、テーブルに集う人々による対話の中から、創造的な広場活用や公共と芸術の関係などについて検討します。

9.5 (SAT) 12:30-18:45

KEY NOTE SPEECH

12:30-13:30

「芸術における二つ(?)の公共性
(可能性はどこにあるのか)」

基調講演 | 岡崎乾二郎 (造形作家 | 批評家)

SESSION 1

14:00-16:15

「アートセンターの公共性と可能性」

近藤健史
 (デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) マネージャー)
 山田真也
 (札幌市 観光文化局 文化部 市民交流複合施設担当係長)
 山本麻友美
 (京都芸術センター プログラムディレクター)
 モデレーター | 酒井秀治
 (まちづくりプランナー | 株式会社ノーザンクロス)

SESSION 2

16:30-18:45

「これからの国際芸術祭」

飯田志保子
 (札幌国際芸術祭 2014 アソシエイト・キュレーター)
 服部浩之
 (あいちトリエンナーレ 2016 キュレーター)
 日沼禎子
 (さいたまトリエンナーレ 2016 プロジェクトディレクター)
 モデレーター | 吉本光宏
 (ニッセイ基礎研究所研究理事)

9.6 (SUN) 14:00-18:45

SESSION 3

14:00-16:15

「社会にアートは必要か」

雨森信
 (Breaker Project ディレクター | 大阪市立大学文学部特任講師)
 小田井真美
 (AIR 勉強家、アートプロデューサー)
 藤井光
 (美術家 | 映像監督)
 モデレーター | 工藤安代
 (NPO 法人アート&ソサエティ研究センター代表理事)

SESSION 4

16:30-18:45

「アートプロジェクトの未来」

小川希
 (TERATOTERA チーフディレクター | Art Center Ongoing 代表)
 藤田直哉
 (評論家)
 山本高之
 (美術作家)
 モデレーター | 橋本誠
 (アートプロデューサー | 一般社団法人ノマドプロダクション)

協力 | 小田井真美 (AIR 勉強家、アートプロデューサー)、須之内元洋 (札幌市立大学 デザイン学部 助教)、株式会社ノーザンクロス